

環境パフォーマンスにおける リーダーシップ

トップマネジメントが、組織の戦略や目標との整合性を持たせる助けに。

The LRQA logo is displayed within a square frame. The letters 'LRQA' are in a bold, black, sans-serif font. A green checkmark is positioned to the right of the letter 'A'. The entire logo is enclosed in a thin green square border.

ISO 14001における リーダーシップの役割

トップマネジメントの環境マネジメントシステムの理解と、
マネジメントシステムへの積極的な関与が鍵。

パフォーマンス向上に向けマネジメントシステム規格全体が整合化され附属書SLの採用により、上位構造(HLS)では、リーダーシップは、組織や事業のパフォーマンスを推進する機会をもたらす役割をもつとしています。

附属書SLの箇条5ではリーダーシップの重要性を強調しており、リーダーシップを環境パフォーマンス改善の手段と考える前向きな思考のトップマネジメントを有する組織は、ISO 14001の運営により大きな成果が期待できます。

この規格が保有する潜在的な有効性を認識することにより、組織は環境パフォーマンスを向上させ、全体的な成功の度合いを高める強力なツールとして、ISO

14001を活用できるようになります。

リーダーシップの役割については、箇条5で概要を説明していますが、リーダーシップの重要性の根拠は箇条4に示されています。箇条4では、組織と環境の関係を双方向で捉え、外部および内部の課題を決定することを求めており、これによりマネジメントシステムがビジネス戦略と整合するものとなる重要な点です。

附属書SL共通のテキストと構造は、マネジメントシステムの導入をより容易にし、そして包括的な視点が、この規格を日常業務において、より現実的かつ実体を伴うものとしています。

リーダーシップは、環境マネジメントシス

テムとビジネスプロセス全体との整合性をもたらし、かつ会社全体にとっても有効な仕組みとなり成功をもたらす中心的役割を果たします。

リーダーシップはなぜ重要か？

リーダーシップがきわめて重要であるのは、ISO 14001が、組織的なプロセスにおいてより大きな役割を果たすように発展してきたからです。ISO 14001は当初、環境への影響を減らすことによって環境パフォーマンスを改善するように策定されていました。

しかし、時代の流れとともに「紙・ゴミ・電気」の削減といったものだけでなく、持続可能な発展やCSR観点、環境パフォー



マンズの重視など、将来的な事業戦略に向け戦略的に環境マネジメントに取り組みよう改定が加えられました。例えば、製造段階だけでなく、原材料の産出から加工、そして廃棄されるまでの間の環境への影響を考えるライフサイクルの視点に配慮した環境負荷についても考慮されるようになっていきます。

ISO 14001:2015では、組織とその主要ステークホルダーに対する、より包括的な視点が求められています。そのためには、新たな仕事への取り組み方、そして新たなレベルのリーダーシップが求められ、環境マネージャーだけが責任を負い、短期的な方針を設けるだけでは不十分です。ISO 14001から最大限のメリットを得るには、企業全体でのリーダーシップが必要です。

リーダーシップとは何か？

ISO 14001ではリーダーシップは具体的に定義されていませんが、以下のような点が考えられます。

- ・ 明確なビジョンを生み出す能力。
- ・ 他者とそのビジョンを共有し、それを追求する動機を他者に与えられる能力。
- ・ 他者がビジョンを追及し成功できる体制やツール、情報を提供すること。
- ・ ビジョンの追及の際に生じるリスクや対立を制御すること。

リーダーシップとは、あらゆる場所そして組織内のあらゆるレベルに存在するものですが、トップマネジメントは、具体的には、最上位の立場から組織に指令を出し統制を行う人または集団を指します。このように、リーダーシップとトップマネジメントとを区別することが重要です。

リーダーシップがどのようにエンゲージメントとベストプラクティスを実現するか？

組織内での変更とは、どのような場合も容易ではありません。複数のグループやチームが常に同じ目標に向かって働くようにすること、そしてグループやチームを鼓舞しモチベーションを維持することは、優れたリーダーシップがあってこそ可能です。こうした種類のエンゲージメントに必要なのは、個人に新たなターゲットを定めた課題を常に与えると同時に、ターゲットの達成における個人の成果を認識することです。

ビジネス上の戦略や目標と整合性のあるマネジメントシステムは、透明性を高め、組織としての志や進化をもたらします。

予算作成から法務、投資計画から主要能力の開発に至るまで、あらゆるものが併せて考慮されるようになります。

従業員そしてステークホルダーに対してより明確にするためには、リーダーシップはきわめて重要です。リーダーシップとは、各個人が自らの役割そして会社に与える影響を理解できるようにすることであり、パフォーマンスの向上をもたらすものです。従業員の行動と、より大局的なビジョンへの貢献とを結びつけることが、パフォーマンス文化にとっては重要です。

トップマネジメントに期待されることは何か？

トップマネジメントとは、経営幹部や取締役などの最高レベルの意思決定者だと定義することができます。トップマネジメントに関連する要求事項では、有効性のある環境マネジメントシステムの策定とサポートにおいてトップマネジメントが果たす役割について触れています。

リーダーは、以下を含む多くの領域で自らの関与を実証し、環境マネジメントシステムに従事する能力を有していなくてはなりません。

- ・ 組織の事業プロセスへの要求事項の統合を確実にする。
- ・ 継続的改善を促進する。
- ・ マネジメントシステムがその意図した成果を達成されることを確実にする。
- ・ その他の関連する管理層の役割を支援する。
- ・ 組織全体での方針の確実な伝達、理解および適用。

ISO 14001がリーダーシップに重点を置いていることは、トップマネジメントが環境マネジメントシステムの有効性について説明責任を負う必要があることを意味しています。すなわちトップマネジメントは、より良い環境パフォーマンスや環境保護を実現し、かつ積極的に組織内の環境マネジメントを推進するために、組織の状況や、リスクならびに環境マネジメントシステムの目標を達成するための機会について、明確な理解を示す必要があるのです。

トップマネジメントは、マネジメントシステム認証をビジネス上の目標に整合させることを重視した上で、より大局的な見地に立ち、マネジメントシステムと組織のあらゆるレベルのリーダーシップにパフォーマンスを向上させる力を与える必要があります。

LRQAが 提供するサービス

マネジメントシステム認証

LRQAは皆様の課題を認識し、目標の実現・競争優位の獲得・リスクの管理に欠かせないマネジメントシステムの運用を推進してきました。我々は皆様のシステム管理・リスク低減・パフォーマンスの維持・改善をサポートし、お客様のマネジメントシステムの成熟度に応じたティラードの審査をご提供いたします。

ビジネス課題重点審査(FABIK)

Focused Assessment Business Issues and Kaizen

これまでの定期審査をより進化させたのが、ビジネス課題重点審査「FABIK」です。組織が真に重要と捉えていることに焦点を当て、組織のマネジメントシステムの適合性のみならず有効性も判断し、顧客のビジネスをより確かにすることを支援する審査です。

効果的な審査及び組織のマネジメントシステムの審査登録を通じて、組織がマネジメントシステムを使用し、ビジネスを向上させることを支援するというLRQAのミッションに基づき、組織が真に重要と捉えていることに焦点を当て、組織のマネジメントシステムの適合性のみならず有効性も判断し、顧客のビジネスをより確かにすることを支援する審査です。経営層の方との話し合いで組織が抱えているマネジメントシステム上の課題を抽出して、課題解決の該当業務システムだけに焦点を当

てて審査いたします。そのため、経営者の方が考える重要な課題を解決でき、より具体的な改善効果、メリットを得ていただくことが出来ます。

教育研修サービス

LRQAでは、お客様のマネジメントシステムおよび人材育成に向け、変化と改善をもたらしことを目的に研修を提供しており、従来のマネジメントシステム・ユーザー向けの専門教育機関としての長年の経験と審査現場を熟知した講師陣により、企業の各階層向け研修や開発・製造・購買・物流・営業など各プロセス特有の課題解決に資する教育研修を幅広く提供しています。

また、LRQA教育研修では、アメリカの研究者が提唱した人の能力を測る指標は対人感、数感、音感、運動感、語学感、内省感、視覚感、博物感の複数(8つ)の知覚があり、どれに秀でているか人により異なるとするMI(Multiple Intelligence)理論を素材に、教育研修のなかで学習者が本来もつ知覚を刺激し関心を高めるきっかけの提供が学習効果につながるという加速学習(Accelerated Learning)教育法を、その始期から取り入れています。

この加速学習をベースに開発されたLRQAの研修のプログラムにより、研修のはじめから終わりまで刺激を受け知覚が活性化されることで無理のない習得につながり、自然に、型式ばらずに、学びを楽しむことができ、研修終了時には理解度が大幅に向上します。

ギャップ分析

LRQAのギャップ分析では、審査前に貴社を審査員が1回または2回訪問し、このギャップ分析を実施することで、規格要求事項の理解が促進され、貴社のマネジメントシステムとの差異を明確にすることができます。そのため、審査までに不足している部分に対処しておくことができ、よりスムーズな審査を実現することができます。

ギャップ分析のメリット

・ 審査へ向けてやるべきことを把握

LRQAでは、ISO 9001および、ISO 14001の2015年版移行に関しては、チェックリストを用意しており、要求事項に対する貴社の課題点の抽出を優先付けることができ、審査へ向けてやるべきことが見えてきます。

・ 要求事項の理解が深まる

要求事項の理解が深まることで、貴社のマネジメントシステムがどの程度要求事項を実現しているか、そのレベルを把握することが可能になります。

・ 認証取得までのタイムスケジュールを策定可能

不足部分・やるべきことが明確になれば、移行審査までの現実的なタイムスケジュールを策定することができ、社内に周知徹底できます。

・ 貴社の状況に応じてカスタマイズ可能

ギャップ分析の実施時期や工数は、カスタマイズできます。「1日だけ」、「文書だけ」、「現場だけ」といった対応も可能です。

お問い合わせ

Email : japan-marketing@lrqa.com
URL : <https://www.lrqa.com/jp>

LRQAリミテッド

〒220-6010
横浜市西区みなとみらい2-3-1 クイーンズタワーA10階

本書に示すすべての情報が正確かつ最新であるように、LRQAでは細心の注意を払っています。ただし、情報の不正確さや変更について、当社は一切の責任を負いません。

Care is taken to ensure that all information provided is accurate and up to date; however, LRQA accepts no responsibility for inaccuracies in or changes to information.
For more information on LRQA, click here (<https://www.lrqa.com/entities>) © LRQA Group Limited 2021

LRQA